



公益社団法人SVリーグ

Q. 「一定条件のもと、理事会承認を前提に入場可能数 5,000 席未満でも SV ライセンスのアリーナ要件の基準を充足するとみなす」の対象に該当するクラブはどこか

- 現状、SV クラブの中で WOMEN は KUROBE アクアフェアリーズ、PFU ブルーキャッツ石川かほくの 2 クラブ、MEN は東レアローズ静岡の 1 クラブが該当。KUROBE のホームアリーナは立ち見席を入れると入場可能数が 5000 席を超える状況ではある。PFU は 3000 席ほどではあるが、比較的新しいアリーナであることも勘案し、今後例外基準を充足するような取り組みをしていただきたい。東レ静岡はホームアリーナである三島市民体育館の入場可能数は少ないが、近隣にこのはなアリーナなど基準を満たしているアリーナがあり合わせて活用されている。

本件は 2030-31 シーズンを目安に状況を鑑みて判断していくということであり、見直し条件付きの制度である。

Q. 2026-27 シーズンの MEN においてクラブ数増加は海外リーグを参考にして決定したのか

- 海外リーグがどのように参加クラブ数を決定しているのかは参考にはしていない。ただ、イタリアのセリエ A は WOMEN14 クラブ、MEN12 クラブで行っている。ポーランドリーグは 16 クラブで行っている。当初から日本の人口規模等を考えたときに 12 クラブ、MAX16 クラブという構想はしていた。

Q. 2025-26 シーズン開幕前にも MEN を 12 クラブにするという話があったが、その時とは何が違うのか

- 原則 12 クラブでの開催をめざすという方向性は既に決議されているが、今回は、正式に 12 クラブで開催することが議決されたというご報告である。

Q. クラブ数増加について要望があったり、必要性を感じたから今回の決議に至ったのか

- MEN の実力や(来場者数に見られるような)応援していただいているファンの方たちを考えると、2 クラブ増加しても大丈夫だという判断をした。また、VC 長野やヴォレアス北海道が頑張り続けて結果を残してきている姿を見ると、SV リーグの環境で切磋琢磨していくことがチーム、選手が成長していくという面もあるだろうという見解に至った。

Q. すでに 12 クラブの目途(2 クラブ増)がついている状態なのか

- SV リーグで戦う意欲という面では、12 クラブ揃っている。ただ、現在ホームアリーナの確保や売上などの諸条件をライセンス審査している段階。現在の V リーグライセンスを保有しているクラブにヒアリングを実施し、地域の支援やクラブの成長につながる施策に関してのシナリオは描かれているという認識。今後は 2026 年 3 月 18 日・4 月 15 日のライセンス判定までに確認をし、SV ライセンスの交付をするかを決定していく。

Q. 2027-28 シーズンの WOMEN の試合形式について

- まだ決定はしておらず、今秋頃に決定をしていく。2026-27 シーズンについては 14 クラブを東西に分けて 38 試合開催することは決定している。

以上